

令和7年
12月18日(木)
13:10~16:30
ハイブリッド開催
(会場・オンライン)

事前申込締切
12/12(金)
参加無料

令和7年度 茨城県霞ヶ浦環境科学センター **研究成果発表会**

～霞ヶ浦などの水環境、大気環境の実態に迫る「最新研究発表」～

茨城県霞ヶ浦環境科学センターでは、県内の湖沼・河川の水環境や大気環境などの保全のための調査研究を行っており、取り組んだ調査研究の成果を、広く県民の皆様にご報告することを目的に、毎年度、成果発表会を開催しています。

本年度についても、会場とオンライン（Webex）によるハイブリッドで開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

研究内容について興味がある方、研究者と議論したい方
ご参加お待ちしております！



会場

茨城県霞ヶ浦環境科学センター 多目的ホール（土浦市沖宿町1853番地）

定員

事前申込みをしていただければ、
どなたでもご参加いただけます。
会場 80名
オンライン（Webex） 100回線
※先着順

申込み

令和7年12月12日(金)までに、
QRコード又は下記のアドレスから
「いばらき電子申請・届出フォーム」にアクセスし、必要事項を記
入の上、お申し込みください。



https://apply.e-tumo.jp/pref-ibaraki-u/offer/offerDetail_initDisplay?tempSeq=80716&accessFrom=

プログラム（予定）

- 12:30 開場
13:10 開会の挨拶 センター長 小岩 明彦
- 13:20 特別講演
○耕作放棄地を活用したNature-based solutions (NbS)
：農業生産、水質、生物多様性が三方良しとなるためには
　　国立環境研究所 生物多様性領域 生態系機能評価研究室
　　松崎 慎一郎 室長
- 14:00 研究成果発表（予定）
○霞ヶ浦沿岸におけるアオコ発生の長期的傾向及びその要因検討
　　主任 木村 夏紀
○恋瀬川における平水時及び降雨時の水質変化
　　主任研究員 長濱 祐美
○汽水湖「涸沼」における塩分濃度と貧酸素化の関係
　　技師 藤岡 裕真
○PM2.5及び光化学オキシダントの広域調査結果及び本県の状況
　　主任研究員 豊岡 久美子
○百里飛行場周辺の航空機騒音実態調査
　　大気・化学物質研究室長 前田 良彦
- 15:50 閉会
15:50 ポスター発表

※ 進行により時間は多少前後することがあります。

※ 会場の様子は、記録のため録画されます。



茨城県霞ヶ浦環境科学センター
Ibaraki Kasumigaura Environmental Science Center

＜お問合せ＞ 湖沼環境研究室/大気・化学物質研究室

TEL : 029-828-0963 FAX : 029-828-0968

E-mail : kasumigaura@pref.ibaraki.lg.jp

※休館日：月曜日